



金ヶ崎写真クラブに入って11年ほどかしら。若いころからのを足すと15年くらいね。1年の集大成としてめんこい美術館で仲間と写真展を開いています。花ひとつ撮ってもアングルによっていろいろだから、見る人に気持ちが伝われば最高だと思ってるの。

異文化を肌で感じたくて、英会話教室にも週1で通っています。初対面の外国人にも自分から話し掛けられるようになってきたの。毎日リスニングをしている成果も試せるからね。

楽器やダンスの振付を考えるのも好きね。新聞に文章を投稿したり詩を書いたり、気持ちをわかってほしいときに、無性に書きたくなるの。

「家のことだけに神経を集中するのは苦手」という禮子さん。忙しい中にも時間を見つけて好きなことをやっていると、大変なことも切り替えながら乗り切れると話してくださいました。「気合いを入れず、自分らしく楽しく、深く悩まず」とおっしゃっていましたが、お孫さんを喜ばせるための季節毎の行事パーティは相当に気合いが入っています。仮装あり楽器演奏ありの会。盛り上がる様子が目に浮かびました。(改断生涯学習推進員 後藤真里子さんの推薦)

～ 非行少年や被害少年を生まない社会の実現のために ～

ふれ愛弁論



1. 子どもたちを地域で見守りましょう!

卒業や進級進学、就職を控えたこの時期、解放感や新生活への期待、不安から、特に環境の変化に敏感な子どもたちは行動が浮足立ちやすくなります。また、3月はまだ日暮れが早いことから、夕暮れ時の交通事故や犯罪被害の危険が増します。

子どもたちが思わぬ事件事故に巻き込まれたり、非行に走らないよう、地域全体で積極的な見守りや声掛けを心掛けましょう。

2. 解放感が非行やトラブルの元になります。

門限等あらかじめ決めておくほか、外出するときに「誰とどこへ行くのか、何時に帰るのか」を確認するなど、日頃からコミュニケーションを重ね、子どものわずかな変化も見逃さないようにしましょう。

3. 子どもたちをインターネット上の有害情報から守りましょう!

保護者は、子どもに使わせているインターネット機器に責任を持ち、フィルタリングを必ず実施した上で、自分や他人を傷つけないような利用方法について、家族で話し合ってルールを決め、子どもの利用状況に関心を持ちましょう。

第36回

金ヶ崎マラソン大会 水と緑の町を走ってみませんか 2018年6月3日(日)

<参加申込締切>

●郵便振込 4月20日(金)

●インターネット 4月26日(木)



誘われて、石鳥谷八日市のつるし雛まつり(八日市いきいき交流館)へ出掛けました。廊下の壁にはタペストリーが展示され、ドアを開けて中に入ると、所狭しと色とりどりのつるし雛が飾られていました。圧巻は作品数。しばし呆然。その後は夢中でシャッターを切り、ワークショップに参加し、ちりめん布の小さな雛人形を完成させました。

マンツーマンで縫い方を教わりながら聞くと、家族の協力で成り立っているとのこと。女性たちの晴れ舞台を雨の中、駐車場係の男性陣が支えている温かさにほんわかとした気持ちになりました。(佐)